

# 授業科目 家族看護学

【担当教員名】  松井 由美子	対象学年	2	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修選択	選択
	単位数	1	時間数	15

## 【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	○	○

## 【概要・一般目標：GI0】

本科目では、家族看護学の主な理論を理解し、家族アセスメントの能力を修得する。事例を用いて、家族の問題を明確化する家族アセスメント過程を理解し、家族を支援する看護師に必要な能力について考察する。各発達に応じた家族援助のあり方も考察する。

## 【行動目標：SB0】

- 1) 現代社会の家族の状況や家族看護学の経緯について理解し、家族看護学に興味をもてる。
- 2) 家族看護学に活用されている諸理論について説明できる。
- 3) 家族の機能・役割について説明できる。
- 4) 家族アセスメント・モデルの概要について説明できる。
- 5) 家族アセスメント・モデルを使用し事例の家族をアセスメントできる。
- 6) 発達段階に応じた家族援助の方法を考察する。

回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	現代社会における家族の現状と家族看護学	1	講義
2	家族看護学に活用されている諸理論、家族の機能と発達	2	講義
3	母性領域の家族援助	3	講義
4	小児領域の家族援助	4	講義
5	精神領域の家族援助	5	講義
6	成人領域の家族援助	5	講義
7	老年領域の家族援助	5	講義
8	事例演習・まとめ		演習・講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	家族看護学	小島操子監修、星直子編集	中央法規	2007・2,600円＋税
参考書	家族心理学	中釜洋子他著	有斐閣ブックス	2008・2,300円＋税
その他の資料				

## 【評価方法】

筆記試験(80%) 出席・態度(20%)

## 【履修上の留意点】